

## [事業所向け 放課後等デイサービス評価表]

公表日： 令和4年5月10日

事業所名：放課後等デイサービス ブルーフロッグ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の設備基準 1人当たり2.47m<sup>2</sup>を満たしております。</li> <li>・新しい施設を建設予定です。完成後は、設備基準以上のスペースを確保できる予定です。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準以上の児童指導員等の職員を配置しています。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化はされていません。極力段差をなくし危険のないよう配慮しています。また、児童が移動する際には見守りをしっかりとしていきます。</li> <li>・新しい施設は、バリアフリー等、設備が充実する予定です。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者会議にて児童個々の計画に対して目標の確認、振り返りを行っています。</li> <li>・1月に1回の支援者会議、利用当日の事前事後ミーティングの実施。</li> <li>・非常勤職員の参画が難しい状態であるため、申し送りシート等による共通理解を図っています。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時等にアンケートを実施し、業務改善につなげています。その他、ご意見がありましたら、随時、ご連絡ください。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開業後、今回が初めての公開となります。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関による助言をいただいています。その他、相談支援専門員や他の事業所の方等の意見を聞き、業務改善につなげています。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修を毎月2～3回実施しています。外部研修にも適宜参加し、職員それぞれのスキルアップ、専門性の向上に努めています。</li> </ul>
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者面談や相談支援専門員との連携、モニタリング、各種心理検査データなどを参考にしながら個々に応じた計画を作成しています。</li> </ul>
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SM社会生活能力検査、WAVES（ビジョンアセスメント）を実施し、客観的データを元に社会性や認知機能等のアセスメントを実施しています。</li> </ul>	
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のミーティングにより、職員それぞれが意見を出し合い、現在の状況、支援の方法や活動内容、進め方等を検討しながら立案しています。</li> </ul>	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立案しています。季節の行事等も取り入れながら実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		休日や長期休暇には、十分な時間を取って取り組める課題を設定する等の工夫をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別の時間、グループの時間を組み合わせてサービスを提供しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日の朝礼時に当日の内容や役割について、ホワイトボードでの提示および口頭での確認をしています。短時間勤務職員に対しては、ホワイトボードの確認を徹底した上で口頭での業務連絡をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	1	支援終了時には、必ずその日の状況の振り返りを実施しています。気づいた点や課題等に関しては記録に残し、次への支援に役立てています。短時間勤務職員へは、出勤時の支援記録確認を促し、共通理解を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の活動内容、学習内容、お子様の様子などを把握した上で、それぞれに記録をつけています。支援の仕方や関わり方など、障害特性を理解した上で何が一番大切であるかを検討し、良い支援につながるよう職員間ミーティングでの話し合いを毎日実施しています。</li> <li>記録については、常勤職員のみで実施しています。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			6ヶ月に1度、モニタリングを実施し、支援の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2		ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立案しています。季節の行事等も取り入れながら実施していきます。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		開催される場合には、管理者および児童発達支援管理責任者や支援担当者などを選任して出席します。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には、保護者様を通して情報共有をさせていただいています。また、直接学校へ問い合わせ確認することもあります。</li> <li>各学校へ年度始めに挨拶に伺っています。お子様へのより良い支援のため、情報共有をスムーズに行えるよう顔の見える関係を大切にしています。</li> </ul>	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		現在、医療的ケア児の受け入れはしていません。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関連携として、児童発達支援事業所との情報共有をしています。</li> <li>・相談支援専門員を通じての情報共有があります。</li> <li>・保育所や幼稚園、認定こども園については、必要性が高い場合には連携をすることもありますが、積極的連携はしていません。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、対象児童がいません。</li> <li>・必要に応じて情報提供をすることができます。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時には助言をいただきます。その他、相談支援専門員や市役所等と連携することもあります。</li> <li>・研修については、職員周知の下、随時実施しています。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や公共の場での交流により、障害のない子供たちと活動する機会があります。</li> <li>・法人内でのイベント時には地域交流を活発に行っており、障害の有無にかかわらず様々な人々が交流する機会があります。</li> </ul>
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			6	機会があれば参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		利用当日のおお客様の様子について報告し、状況の把握や共通理解を心がけています。また、モニタリングの実施、定期的な面談やご要望に応じての面談等を実施することにより、状況把握に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	2	ペアレントトレーニングとしての実施はしていませんが、面談による相談、助言をしています。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明させていただいております。その他、必要時にも説明するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			定期的な面談および希望に応じて相談を受け付けております。その他、HUG（アプリ）やメールを使用した連絡相談体制も整えております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		<p>父母の会という形での実施はしていませんが、以下の取り組みをしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごきげんファームとの連携による収穫体験やマルシェ開催などを実施しています。地域を含め、保護者様の交流の場としても役立てて欲しいと思っています。</li> <li>・昨年は、ブルーフロッグでの収穫体験や夏祭りイベントなどを実施しています。今年も実施予定ですので、是非、保護者様同士の交流にお役立てください。</li> </ul>

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付等担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		フェイスブックでの配信を週1回実施しています。また、HUGの活動記録の更新を随時していくように致しました。細かく活動報告をしていきたいと思っておりますので、ご覧になっていただけたらと思います。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報の取り扱いには十分気を付けています。個人情報が記載された書類等は鍵付きの棚に保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		その日に取り組む内容をホワイトボードに書き出す等、視覚的にわかりやすくすることや見通しを立てること、意思表示カードやポスター掲示等の配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		・ごきげんファームとの連携による収穫体験やマルシェ開催などを実施しています。地域の皆様へ発信し、多くの方にご参加いただいています。今後も地域交流に貢献していきたいと思っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	1	マニュアルは、保護者様連絡ツールを使用し共有しています。また、職員会議にて対応方法を適宜確認しています。周知・訓練について十分でない部分もありますので改善に努めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4	2	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定期的な虐待防止研修を社内、社外にて実施し、全職員の研修機会を確保しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	1	・契約書に身体拘束の禁止について記載しています。児童の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除いて身体拘束その他児童の行動を制限する行為を行いません。 ・職員間で共有し、必要な場合には計画への記載、保護者への説明をする体制を整えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2	・現在、該当児童はいません。 ・利用開始時に保護者へ確認をしています。 ・児童の健康上の配慮点や注意点等は、職員の意識付けをしっかりと行い、定期的な確認と周知をしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	3	2	・保育事業ヒヤリハット集、福祉施設ヒヤリハット集を事業所内で共有しています。 ・事業所内では、ヒヤリハット報告を実施し、記録に残しています。事例集にはしていませんので、今後作成していきます。	